



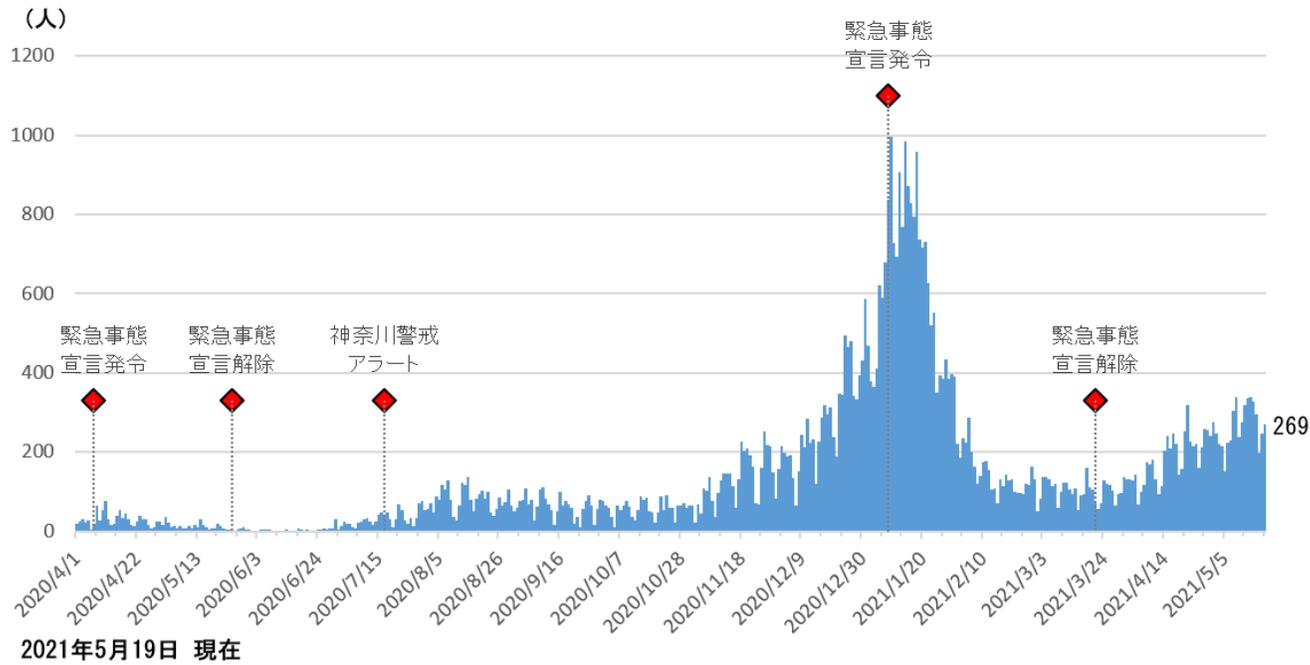
新型コロナウイルス感染症について

<医療提供体制等>

令和3年5月21日

神奈川県健康医療局

新規感染者の推移（実数・日別）・感染者カレンダー



	日	月	火	水	木	金	土	
3月	21	22	23	24	25	26	27	週合計
	77人	56人	72人	128人	121人	117人	102人	673人
	28	29	30	31	4/1	2	3	週合計
	64人	93人	96人	136人	133人	133人	129人	784人
4月	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	142人	68人	100人	118人	175人	168人	180人	951人
	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	132人	94人	114人	205人	242人	209人	247人	1243人
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	220人	142人	157人	252人	318人	226人	216人	1531人
	25	26	27	28	29	30	5/1	週合計
	221人	160人	212人	257人	255人	240人	275人	1620人
5月	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	247人	222人	214人	151人	224人	229人	303人	1590人
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	338人	237人	277人	319人	337人	339人	328人	2175人
	16	17	18	19	20	21	22	
	296人	199人	248人	269人				

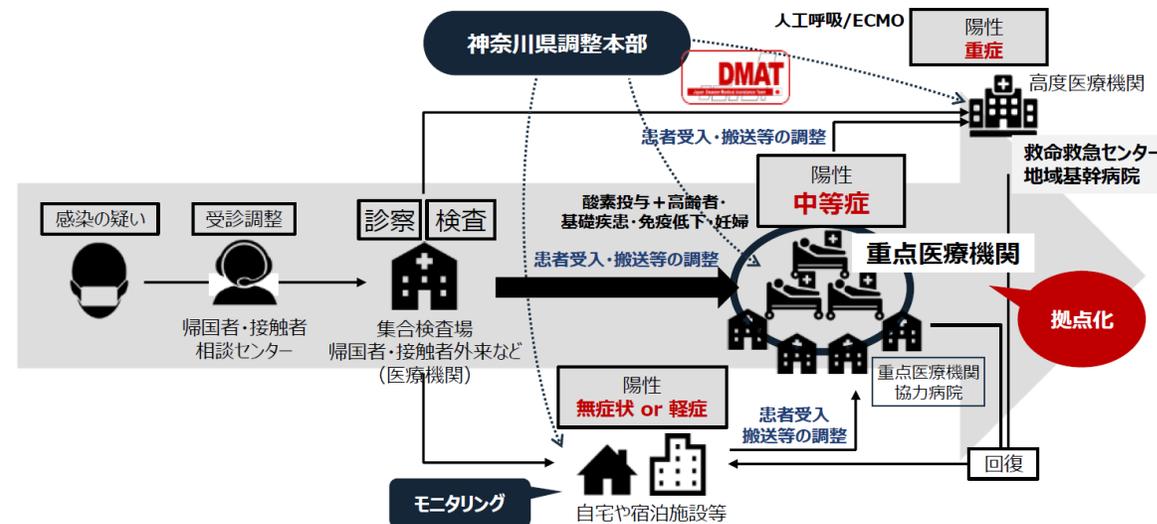
神奈川県におけるこれまでの取組み（1）

新型コロナに対応する医療提供体制の構築

- 医療提供体制「神奈川モデル」の整備
県内病院（精神科単科除く）の半数を超える176病院が参加
- 周辺領域（精神科、小児・周産期・透析）でも体制を整備

効果的な病床確保

- 感染状況のフェーズに応じた病床数の設定
（最大確保病床数の引き上げ 1,555⇒1,790）
- 認定医療機関との個別の協定による病床確保
- 臨時の医療施設で180床を確保し、患者の広域的な受入を実施



■ 協定によるフェーズ別病床数の確保

	病床確保フェーズ			
	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
フェーズ設定時の病床数 (令和3年3月5日)	650	850	1,100	1,555
今回の確保病床数	927	1,204	1,475	1,790

神奈川県におけるこれまでの取組み（2）

入院の最適化

○「入院優先度判断スコア」による入院基準の運用

■ 入院優先度判断スコア

判断項目	スコア
男性	1
75歳以上	3
65～74歳	2
ハイリスク因子1項目あたり	1～2
透析	6
37週以降妊婦	6
CT/単純X線にて肺炎像 (過去の線維化でない、スリガラス状陰影や浸潤影を指す)	最も病変がひどいスライスで 左右合計面積の25%未満 3 最も病変がひどいスライスで 左右合計面積の25%以上 6
判定日を含めて3日以上38℃以上の発熱を認める (CTなどの画像検査代用として肺炎の可能性)	2
安静時SpO ₂ 94 or 95%	2
安静時or室内歩行等の労作時にSpO ₂ 93%以下	6
重症感(横になれないほどの高度咳嗽、摂食・飲水量低下など)	2
無症状	-1

基礎疾患	スコア
糖尿病	2
慢性呼吸器疾患(気管支喘息含む)	2
現在治療が必要な重度の心血管疾患 (症状や心不全伴う冠動脈疾患、心筋症など)	2
高度慢性腎臓病(GFR30未満が目安)	2
肥満	≥BMI30 2 30>BMI≥25 1
治療中の悪性腫瘍 (手術、抗がん剤など治療期間を終えたものを除く)	2
免疫低下状態(ステロイド等の免疫抑制剤使用、臓器移植後、血液・骨髄移植、HIV、原発性免疫不 肝硬変)	2 1

* 基礎疾患の程度に関して、正確な定量的判断は困難であることを前提に初期判断を尊重する。

病床の効率的な運用

○後方搬送マッチングシステムの実施

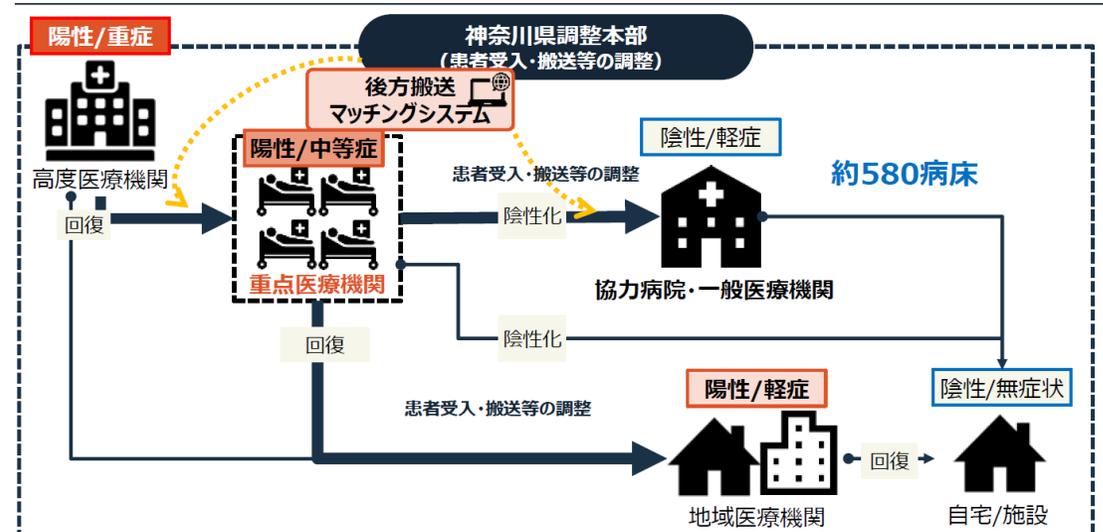
後方搬送調整チームにより、県庁で搬送調整を効率的に行う

(これまでの実績：依頼136件、成立128件)

○後方支援病床の確保状況

205床(令和2年12月) ⇒ 現在約600床

■ 後方搬送マッチングシステム



【目的】

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対し、地域の医師会や訪問看護ステーションと連携した療養サポートを行うことで、早期に医療介入を実施する

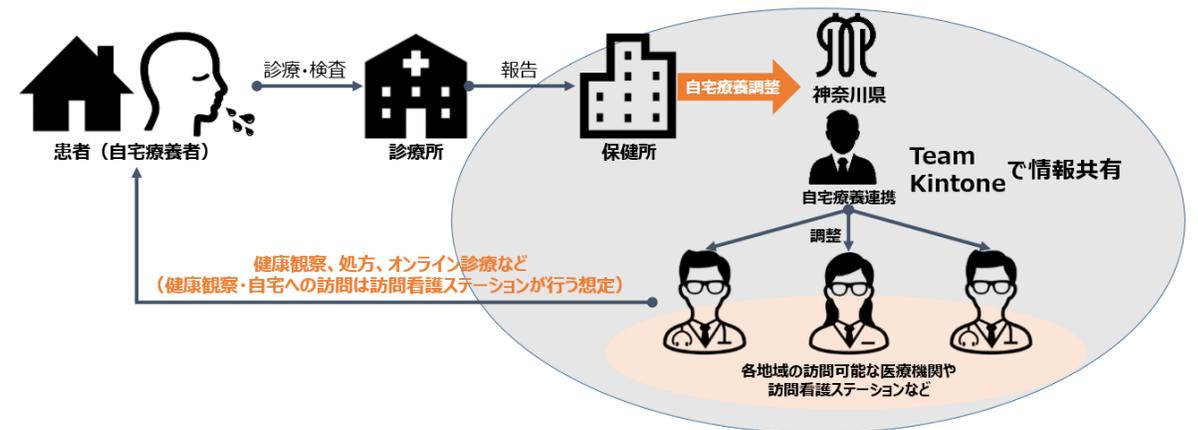
【事業概要】

- 悪化リスクのある方、悪化が疑われる方に対して、看護師が毎日、電話による健康観察を行うほか、必要に応じて自宅訪問し対面により症状を確認。
- 24時間電話相談窓口を運営
- 地域医師会の医師は、看護師からの相談を受け、オンライン診療や検査を行い、入院が必要と判断した場合には入院調整を行う。

「地域医療の視点」から効果的に療養をサポート

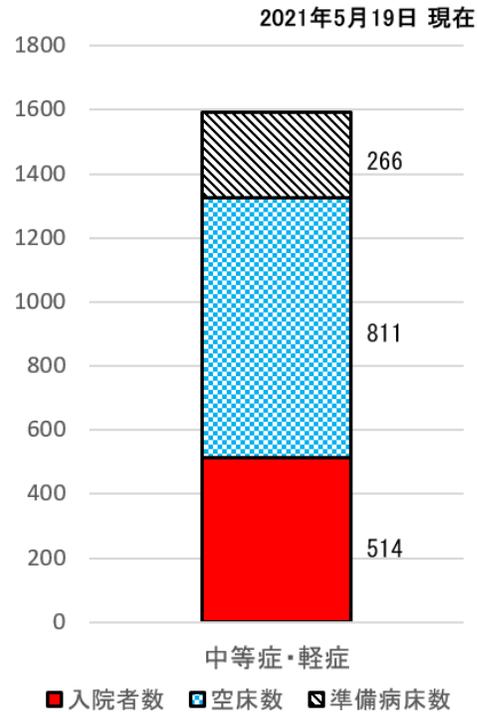
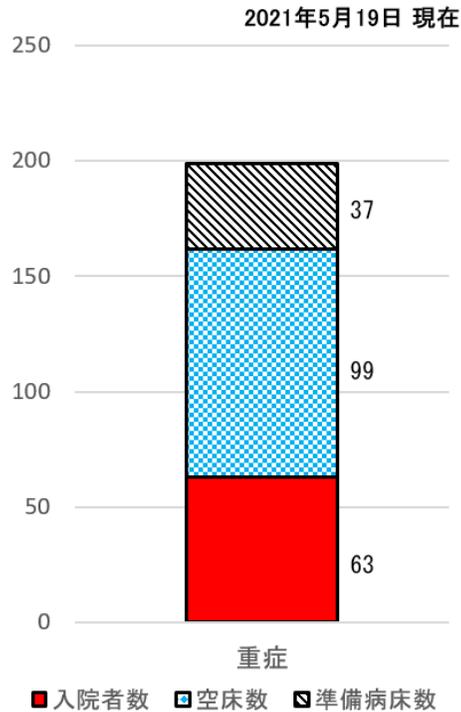
【対象】

入院優先度判断スコア 3 以上、入院待機者、血中酸素飽和度 (SpO₂) 95%以下



病床利用率 (モニタリング指標)

■ 病床利用率

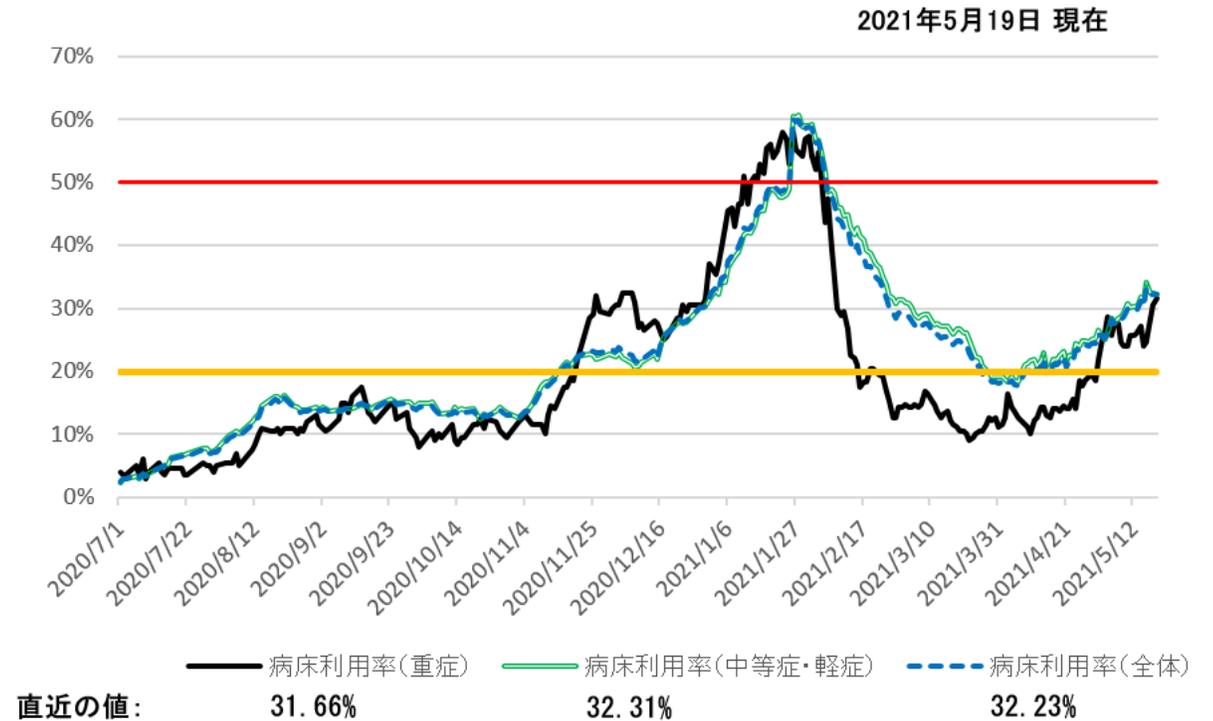


【参考】即応病床数総計：1,487床

※入院者数 + 空床数 = 即応病床数

準備病床は、最終的な確保病床数（1790床 = 重症199床 + 中等症（軽症を含む）1591床）から即応病床数を引いた数

■ 病床利用率の推移

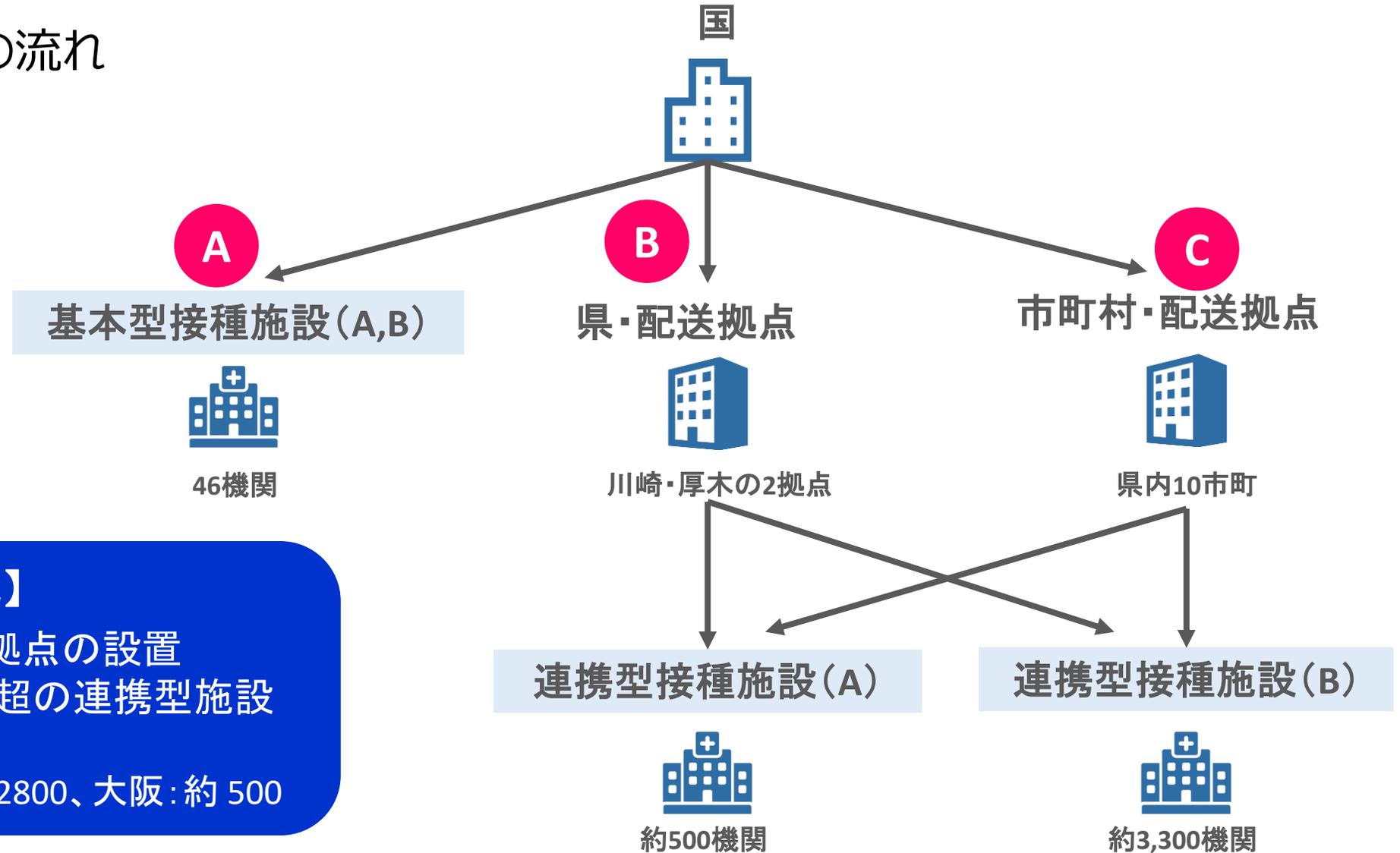


※県のモニタリング指標では、病床全体（宿泊療養施設は含まない）及び重症用病床の各確保病床に対する占有率が、ステージⅢ移行の基準値として20%以上、ステージⅣ移行の基準値として50%以上と設定。

※病床利用率は、最終的な確保病床に対する現在の入院者数で計算。休日における病床利用率は、直前の平日の数値を用いて計算。（ただし、2020年12月29日～については、休日分数値を取得・使用して描画。）

新型コロナウイルスワクチン接種（医療従事者向け）

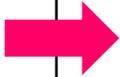
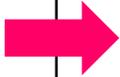
ワクチン供給の流れ



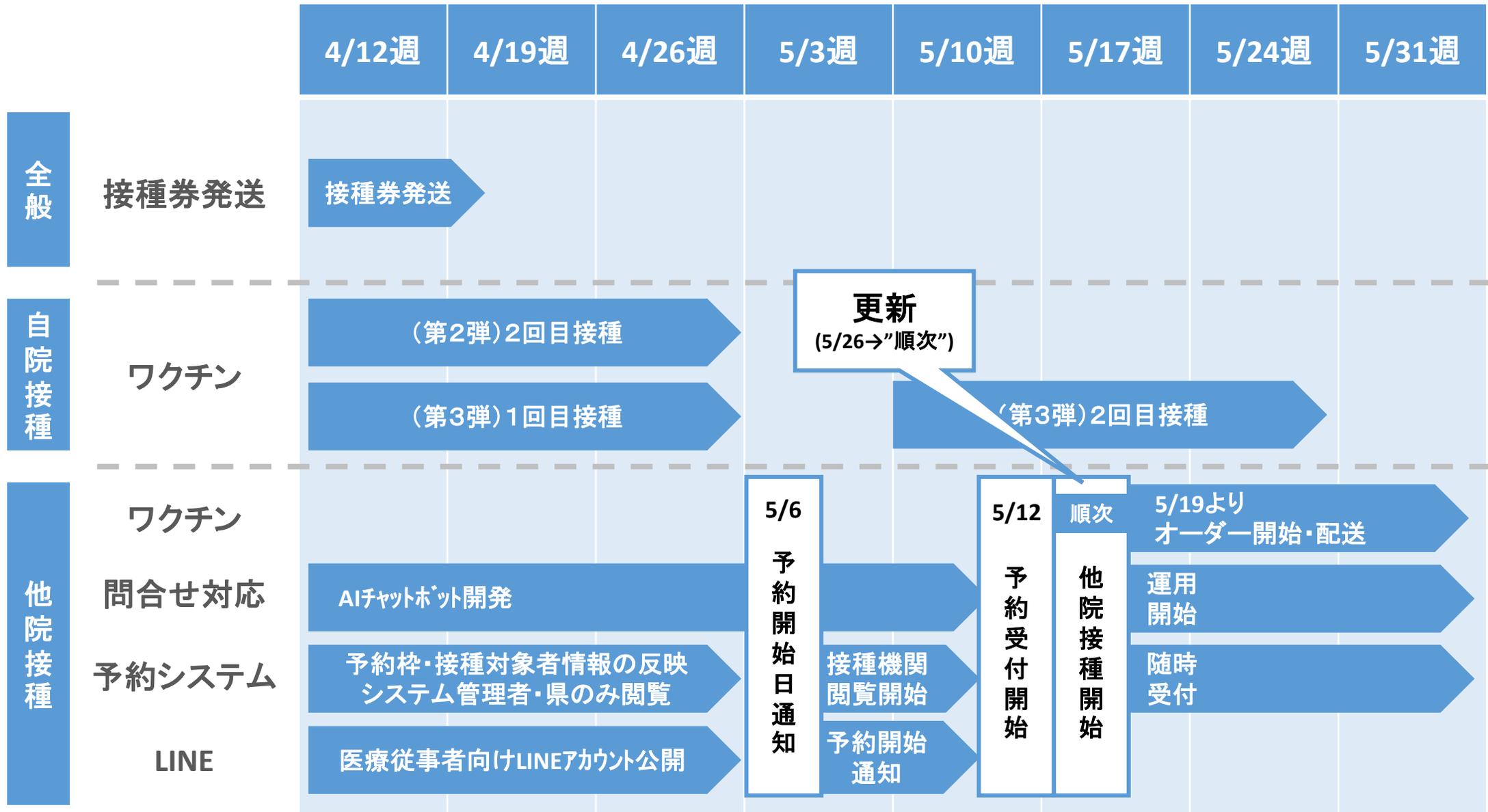
【神奈川県の特徴】

- 県独自の配送拠点の設置
 - 全国最多3,800超の連携型施設へ冷凍配送
- ※ 東京：約2800、大阪：約500

医療従事者向けワクチンの供給状況

A	基本型接種施設	国⇒基本型接種施設 44,070バイアル		配送完了 うち接種済み22,831バイアル = 52% (5/18時点)
B	県配送拠点	国⇒県配送拠点 59,670バイアル	県配送拠点⇒連携型接種施設	(～4月配送) 24,375バイアル  配送完了
		(5/7) 7,995バイアル		配送完了
		(5/11) 17,745バイアル		順次配送中
		(5/12) 9,555バイアル		(1日あたり約2,000バイアル)
C	市町 (10市町) (4月から先行して高齢者 接種を実施する医療機関向け)	国⇒市町配送拠点 4,290バイアル		市町⇒連携型接種施設 2,602バイアル配送済み (5/12時点)

医療従事者向け接種のマイルストーン



（5月19日現在）

区分	1回接種	2回接種
医療従事者等	83.8% (212,822人)	45.1% (114,612人)

※接種予定者リスト人数(253,805人)に対する接種人数

新型コロナウイルスワクチン接種（県民向け）

ワクチンの供給状況（医療従事者を除く）

【県ホームページで市町村別に公表】

	第1クール	第2クール	第3クール	第4クール	第5クール	第6クール	第7クール	合計	希望量に対する充足率
発送週	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日 5月3日	5月10日 5月17日	5月24日 5月31日	6月7日 6月14日		
箱数 （市町村の希望量）	4箱	20箱	20箱	265箱 （394箱）	898箱 （1,098箱）	909箱 （909箱）	881箱 （881箱）	2,997箱 （3,282箱）	91.3%
供給先 市町村数	3市	11市町	11市町	33市町村	32市町	33市町村	32市町村		

第1クールから第3クール

市町村の高齢者施設入居者数の割合に応じて配分箱数を決定

第4クールから第5クール

国から県へ配分された数量を、市町村の高齢者人口及び市町村の希望箱数に応じて調整し、箱数を決定

第6クールから第7クール

国から示された「基本配分計画」及び市町村の希望箱数に応じて調整し、箱数を決定

国の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針により、歓楽街のある大都市等を対象に、4月から6月にかけて、集中的に高齢者施設等の職員を対象に定期的なPCR検査の実施が求められている。

【令和3年度の事業実施について】

● 高齢者施設

県内全域(保健所設置市管内含む)のすべての高齢者施設・介護サービス事業所の従事者を対象に、6月までに週1回実施。財源は日本財団が全額を負担し、検査は同財団が委託した木下グループにおいて、PCR検査を行う。

● 障がい者施設

県域における入所施設及び通所施設の従業員を対象に、6月までに2週に1回実施。県と委託契約を締結した検査実施機関(複数を想定)において、PCR検査を行う。

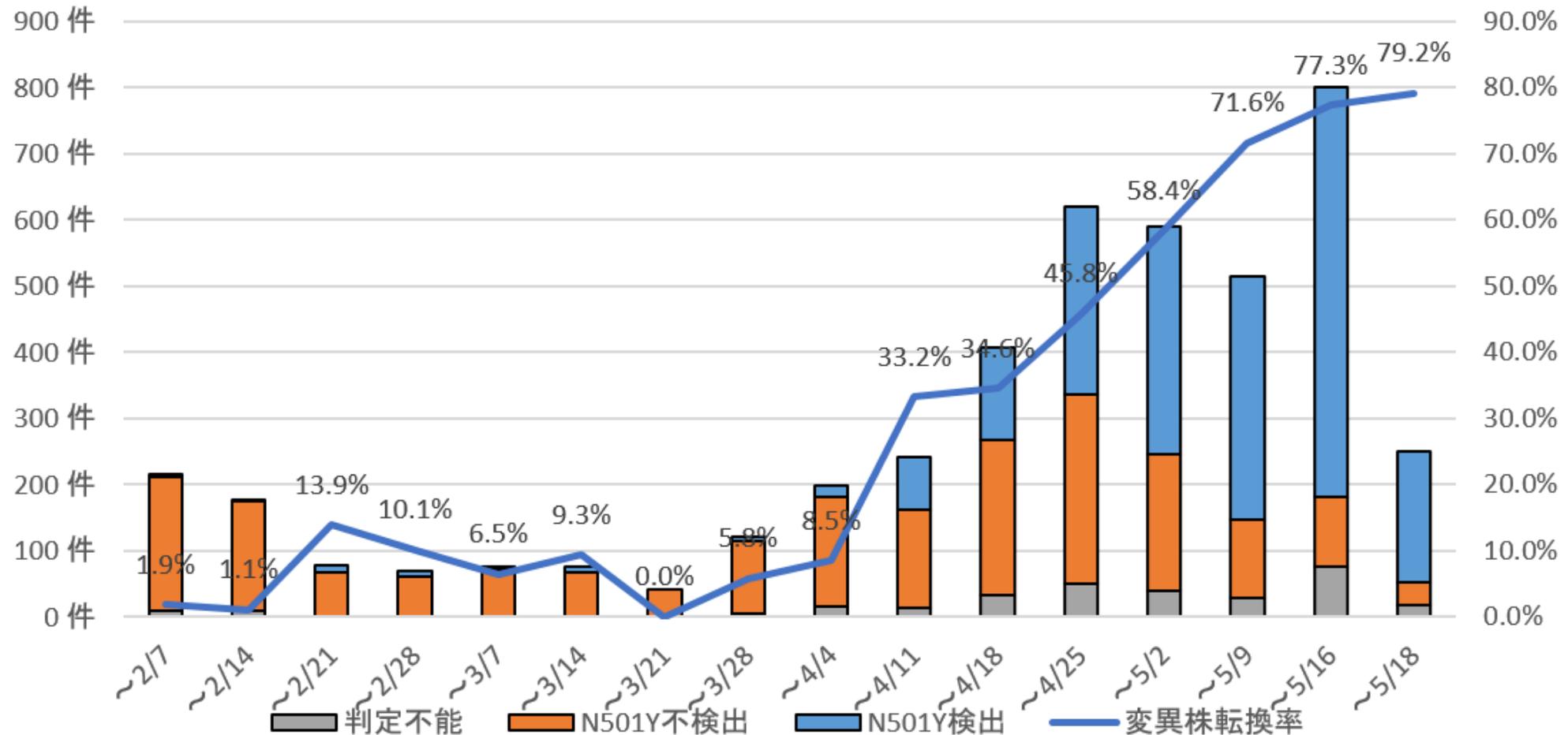
※保健所設置市は、市の判断で実施

変異株感染者カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土	
3月	21	22	23	24	25	26	27	週合計
	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
	28	29	30	31	4/1	2	3	週合計
	0人	3人	0人	13人	3人	1人	0人	20人
4月	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	0人	9人	0人	7人	15人	9人	0人	40人
	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	0人	22人	22人	8人	14人	30人	0人	96人
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	0人	50人	52人	50人	58人	41人	0人	251人
	25	26	27	28	29	30	5/1	週合計
	0人	87人	61人	50人	0人	110人	0人	308人
5月	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	0人	0人	131人	24人	77人	36人	0人	268人
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	0人	174人	70人	88人	60人	51人	0人	443人
	16	17	18	19	20	21	22	
	0人	190人	229人	101人				

変異株検査モニタリング検査実施状況

変異株検査モニタリング検査実施状況(※速報値)



1 個別接種の案内を優先した事例(藤沢市)

個別接種を先行して開始し、予約も各医療機関(5月20日現在:150機関)に担当してもらうことで負担を分散。集団接種は6月以降の開始を予定、集団接種開始までに多くの市民への接種を期待。

2 接種日時等の指定による円滑な予約体制の構築(福島県相馬市)

地区ごとに市が指定した日時での集団接種を実施。意向調査ハガキで接種を希望した者に順次案内通知を送付。意向調査はがきでは、ワクチン接種希望・基礎疾患の有無のほか、送迎バス利用の有無についても確認。

3 インターネット・電話以外の媒体活用例(奈良県生駒市)

接種を希望する人は、「接種申込書」に必要事項を書いて市役所に返信(接種日時・場所の選択はできない)。2回分の接種の日時と場所は、ワクチン供給量と接種体制の状況によって市が調整のうえ指定。

4 抽選方式の予約システムを採用した事例(福岡県鞍手町)

予約申込者から抽選をし、接種が決まった方には接種日等を記載したハガキを送付。抽選にもれた方は自動的に次回の抽選の対象者となり、3回目の予約受付では優先して抽選。申込みは電話と窓口で受付。

5 抽選方式の派生事例(愛知県春日井市)

春日井市は「65歳以上のすべての高齢者」で、申し込みのあった人の中から抽選で接種。4月のワクチン供給量は960人と予定よりも少なかったため、個別接種に先立ち抽選にて集団接種が4月19日より開始。電話とインターネットで申込を受付。